

静岡県精神保健福祉協会

ニュースレター第6号

巻頭言

静岡県精神保健福祉協会 会長 (日本平病院 名誉院長)

加藤 正 武

昭和37年、精神障害者の福祉と一般社会への理解・啓発のために静岡県精神保健福祉協会が発足しました。

県の御協力のもとに各市町、精神病院協会、精神神経科診療所協会、家族会、精神保健福祉関係の諸団体、さらに平成 22 年度からは精神保健に留まらず、広く福祉全般の関係機関とも連携を図るべく、協会の名称に「福祉」を加え、「静岡県精神保健福祉協会」といたしました。多くの方に協会活動を知っていただき、また会員となっていていてネットワークを広げながら、活動を続けていきたいと思っております。



平成 22 年度は協会のテーマを「うつ自殺予防」として、国を挙げて取り組まれている「うつ自殺予防対策」に、当協会も取り組みました。特に県から委託されました「自死遺族支援事業」については、普及啓発と自死遺族の方への支援が出来るように相談会を開いたり、リーフレットを作ったり、支援者の研修会を開催するなど、全県下で活動を行いました。

世の中の構造が複雑化していく中で、心の健康については多くの問題が指摘されてきております。自殺の問題はもちろん、認知症、高次脳機能障害、アスペルガー症候群に代表される軽度発達障害、心的外傷後精神障害 (PTSD) といった問題も脚光を浴びるようになりました。協会事業は発足当初、主に統合失調症の患者さんの社会的理解を啓発していくために始まりましたが、時代とともに当協会の役割も拡大しております。これらのメンタルヘルス問題に対しても、引き続き協会としての役割を担っていく所存であります。

今後も県民の精神保健福祉の寄与していきたいと考えておりますので、会員の皆様の御協力をお願い申し上げます。

こころの健康づくり講演会

精神保健福祉協会では、地域精神保健福祉思想の普及の向上及びその啓発を図り、県民の精神保健福祉の向上を資するため適当と認めた団体に対し、こころの健康づくり講演会開催の支援を行っています。22 年度各地で開催された講演会をご紹介します。

『心の病を理解するための町民講座』

～気づいて欲しい思春期の揺れるこころ～

日時：平成 22 年 10 月 7 日（木）

13:30～15:30

場所：森町保健福祉センター

講師：独立行政法人国立病院機構天竜病院
精神科 藤田梓先生

主催：森町保健福祉課

<講演会の様子>

民生委員 5 名、ボランティア 4 名、一般 11 名、保健福祉課職員 5 名、生活支援センター職員 2 名、養護教諭 1 名、保健所職員 2 名、社会福祉協議会職員 1 名の計 31 名の参加者がありました。最近の子ども達の傾向、診療場面で多い疾患（うつや発達障害）、児童精神科受診のタイミングなどお話しして頂きました。

『思春期の揺れるこころに寄り添って』

～こどもとの関わり方～

日時：平成 22 年 10 月 15 日（金）

13:30～15:30

場所：森町町民生活センター 2 階集会室

講師：静岡県教育委員会

スクールソーシャルワーカー 増田京子先生

主催：森町健康福祉課

<講演会の様子>

スクールソーシャルワーカーは、静岡県内に 20 名います。本人を取り巻く、学校・家族・地域等、周囲の環境調整をし、「困った子供」の問題解決への支援をする役割を担っています。

こころの悩みのある子供には、①急がず温かく見守る、②いつでも受け止めてあげられる余裕を持つ、③学校と情報を共有する、④親は子供がやっていることで知らないことがあったら知らないままにしない、⑤子供と一緒に戦う、以上に注意していくことが大事であるとお話しました。

30 人前後の方々、熱心に聴講していました。質疑応答後、主催者より、「生活支援センターいつでも」や森町の健康福祉部門等についての紹介がされ、困った時にどこに相談したらよいか説明がありました。

『うつについての講演会』

日時：平成 22 年 12 月 21 日（火）

13:30～15:00

場所：韮山福祉保健センター 2 階研修室

講師：沼津中央病院

医師 中島智美先生

<講演会の様子>

参加者は 32 名であり、うつについて、次のような説明がありました。真面目な方がうつになりやすいこと。うつと自殺の関係性は強く、体調がよくなり、動けるようになった時に注意が必要であること。うつの人への対応は一般的な方法がよく言われるが、ケースにより対応を検討する必要があること。薬物療法導入後は医師と家族が情報共有しながら、予後について検討していく必要があること等、説明がなされました。

心の健康フェア2010開催

心の健康フェア 2010 を、「みんなの和 笑顔の輪 やさしい話」をテーマに、平成 22 年 11 月 27 日から平成 22 年 12 月 3 日に静岡市民文化会館にて開催しました。

第 39 回ジョイントコンサートでは、課題曲『WA になっておどろう』とプラス一曲を、病院および社会復帰施設の 6 団体と静岡福祉大学の学生さんが披露しました。特別出演の静岡発ファミリーユニット「オレンチェ」はアニメソング、ナツメロ、オリジナル曲などで会場を盛り上げてくれました。

お昼休憩には、出店（富士宮やきそば、肉まきおにぎり、メロンパン PoPo、minimini ドーナッツ）やバザー・うまいもの市とハートフルアート展に多くの方が足を運んでいました。

今年は 1 日楽しんでもらえるフェアにしたいと実行委員が準備してきたこともあり、コンサート終盤では、「オレンチェ」と参加者が一体となって、『WA になっておどろう』を大合唱することができました。



<参加団体>

- ・大富士病院合唱団
- ・[マウント富士合唱団 わ・わ・わ賞](#)
(富士心身リハビリテーション研究所付属病院)
- ・第一駿府病院
- ・[日本平病院 VIVA 音楽隊 会長賞](#)
- ・[南富士病院 最優秀賞](#)
- ・沼津中央病院
- ・静岡福祉大学

第 32 回ハートフルアート展は、平成 22 年 11 月 27、28、30 日、12 月 1、2、3 日の 6 日間、静岡市民文化会館 4 階 B・C 展示室にて開催されました。保健所友の会 3 団体と病院・社会復帰施設の 16 団体の計 19 団体が出展しました。投票により、焼津病院、伊豆函南病院、菊川市立総合病院が表彰されました。

焼津病院（最優秀賞）



伊豆函南病院（会長賞）



菊川市立総合病院（わ・わ・わ賞）



＜参加団体＞

- ・熱海保健所
- ・静岡市保健所 コスモス会
- ・中部保健所 竹の子会
- ・伊豆函南病院
- ・大富士病院
- ・富士心身リハビリテーション
研究所付属病院
- ・南富士病院
- ・日本平病院
- ・清水駿府病院
- ・静岡県立こころの
医療センター
- ・第一駿府病院
- ・溝口病院
- ・焼津病院
- ・藤枝駿府病院
- ・菊川市立総合病院
- ・福田西病院
- ・川口会病院
- ・小笠病院
- ・地域活動支援センター
M ネット

＜実行委員長から＞

「わ」をテーマにして大会を企画しました。

今年はいまもの市の開催やアート展とコンサートについて表彰を行うなど、新しい取り組みをさせていただきました。

参加した方のみでなく、近隣商店街の方や出店された方々、ボランティアの方々等多くの方の「和、輪、話」に支えられ、無事に大会を終えることができました。最近、参加者の減少などが言われていましたが、参加人数の増加に加え、発表や展示に工夫が見られる等、非常に盛り上がった内容でした。

来年は、さらに活気のある「わ」のみられる大会が開催できることを期待しています。

自死された方のご遺族への支援について

静岡県では毎年約 800 人前後の方々方が自死で亡くなられています。1 人の自死は、周囲の 5 人から 10 人の方々に深刻な影響を及ぼすと言われており、遺されたご遺族の精神的喪失感は計り知れないものがあります。

静岡県精神保健福祉協会では、平成 22 年 4 月より静岡県から「自死遺族支援事業」の事業委託を受け取組んでおります。

平成 23 年度事業内容 (予定)

1 講演会と個別相談会

6 月 16 日(木)午後 2 時 45 分～静岡県男女共同参画センター「あざれあ」大ホール

伝えたいこと～自死遺族からのメッセージ～全国自死遺族連絡会世話人田中幸子氏

2 東部地域における個別相談 (すみれ相談) (平成 23 年 12 月まで実施)

毎月第 3 水曜日午後 予約制【すみれ相談のご案内 (7 ページ) を参照してください】

3 自死遺族支援関係者人材育成

支援者のスキルアップのため、全国の自死遺族支援の研修会に参加希望を募り派遣します。(詳しくは下記担当にお問い合わせください)

4 自死遺族支援関係者情報交換会およびネットワークの構築

各わかちあいの会の活動の様子や、支援に関する情報を共有し、新たに支援を求めている方に、タイムリーな情報提供や支援が出来るようにします。

また、県内で自死遺族支援に取り組まれる方々のネットワークの構築を目指します。

自死遺族支援リーフレット

「大切な方を亡くされた方へ」を改定しました

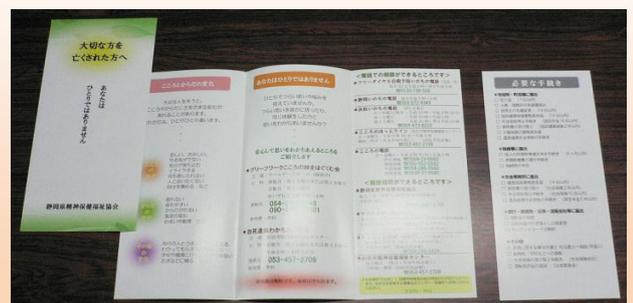
各市町・各健康福祉センター (保健所) 等関係機関窓口にて配架してあります。

ご希望がございましたら下記担当までご連絡ください。

自死遺族支援担当 ほかま 外間知子

TEL 090-2687-2785 FAX 054-286-9249

E-mail : shizuoka_jisiizoku@yahoo.co.jp



平成 22 年 10 月「こころの公開講演会」



平成 22 年 10 月 2 日、グランシップにて一般市民向け講演会「大切な人への想い～自死遺族からのメッセージ」を開催しました。NPO 法人全国自死遺族総合支援センター事務局長南部節子さんを講師にお迎えし、120 名の参加がありました。

ご遺族の立場でご自分の辛く、苦しい想いを、わかちあいの会や周囲の方々の支えで前向きに生きていけるようになったこと。心の絆の大切さ、自ら死を選んだとしても精一杯生きた事を語ることで生かしていきたいと講演していただきました。

平成 23 年 3 月「こころの公開講演会」



平成 23 年 3 月 5 日、東部総合庁舎にて一般市民向け講演会「自死遺族の現状と社会の役割～想いを語ること・傾聴の大切さ～」を開催しました。秋田グリーンケア研究会代表涌井真弓さんを講師にお迎えし、40 名の参加がありました。

自死遺族支援の 20 年間の活動を通して、ご遺族の現状や辛く、苦しい想いを語り合うわかちあいの会の活動等お話をしていただきました。ご遺族が安心して想いを語ったり聴いたりするわかちあいの場でご遺族同士が支え合うことで、少しずつ回復し前に進むことができるというお話でした。アンケートからは「自死遺族支援の難しさや必要性が理解できた」。また東部地域でのわかちあいの会の発足を希望のご遺族のお声も多々ありました。

すみれ相談のご案内

大切な人を自死（自ら命を絶たれた方）で亡くされ、つらい思いをされていませんか。

お一人で悩まないで、お話ししてみませんか。

1 日 程：下記表のとおり（毎月第3水曜日 13時から16時）

2 対 象：大切な人（家族や友人等）を自死で亡くされた方

3 申 込：開催会場の健康福祉センター精神保健福祉担当課

予約制…1日3件

4 相談担当：静岡県精神保健福祉協会 ^{ほかま} 外間知子

5 相談料：無料

6 問合せ：静岡県精神保健福祉協会
 静岡市駿河区有明町 2-20 静岡県精神保健福祉センター内
 電話：090-2687-2785
 FAX：054-286-9249



日 程	開催会場	申 込 先		
			住 所	電話番号
5月18日	御殿場健康福祉センター	〒412-0039	御殿場市竈 1113	0550-82-1222
6月15日	東部健康福祉センター	〒410-8543	沼津市高島本町 1-3	055-920-2087
7月20日	富士健康福祉センター	〒416-0906	富士市本市場 441-1	0545-65-2155
8月17日	東部健康福祉センター	〒410-8543	沼津市高島本町 1-3	055-920-2087
9月21日	熱海健康福祉センター	〒413-0016	熱海市水口町 13-15	0557-82-9120
10月19日	東部健康福祉センター	〒410-8543	沼津市高島本町 1-3	055-920-2087
11月16日	御殿場健康福祉センター	〒412-0039	御殿場市竈 1113	0550-82-1222
12月21日	東部健康福祉センター	〒410-8543	沼津市高島本町 1-3	055-920-2087

お知らせ

平成23年度静岡県精神保健福祉協会総会・記念講演会を開催します。

- 1 日 時 平成23年6月16日(木) 13時00分から
- 2 場 所 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」 6階大ホール
住所：静岡市駿河区馬淵1-17-1
- 3 議 事
- 4 記念講演 「伝えたいこと～自死遺族からのメッセージ」(14時45分から)
全国自死遺族連合会 世話人 田中 幸子 氏

協会の名称が「精神保健協会」から **【精神保健福祉協会】** へ変更になりました。

(平成22年4月1日より)

これからも、精神障害者に対する正しい認識や、理解の普及啓発活動に力を入れてきたい所存です。

どうぞよろしくお願いいたします。

静岡県精神保健福祉協会

〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20 静岡総合庁舎 別館3階

TEL & FAX 054-202-1220

E-mail : sizuoka_seisin@ybb.ne.jp

(事務局出勤日 月・水・金の10:00~17:00)